

第17回全国高校生

形に残る、あなたの想い。

作品集

川柳 コンクール



人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

大賞
〔福岡大学長賞〕

福岡県

福岡大学附属若葉高等学校

三年

松田

梨瑚さん

微笑む目
マスク越しでも
わかるもの

作品評価 [評:福岡大学長 朔 啓二郎]

マスクを着用するのが当たり前になった昨今。対面で向かい合って話す機会も少ない中、相手の感情を読み取るのが難しくなっているように感じる。しかし、日々一緒に過ごす仲間ならマスク越しでも目を見て感じ取れるものがある。言葉を交わさずとも通じ合える絆の深さがこの一句から感じ取れる。

受賞者コメント

この度はこのような素晴らしい賞をいただき、とても嬉しく思います。現在もマスクをつけての生活が続いていますが、マスクをつけていると表情がわかりづらく、人とのコミュニケーションに困ることも多いと思います。しかし、お互いに目を見てコミュニケーションをとることで伝わるものもあると思います。いつかマスクをつけずに笑い合える日々が戻ってくることを願っています。

優秀賞

徳島県 阿南工業高等専門学校 三年 生田 生さん

独り言
ミユートし忘れ
オンライン

優秀賞

東京都 桐朋女子高等学校 二年 久保田 亜衣さん

ワクチンの
接種案内
なつだより

作品評価 [評:福岡大学長 朔 啓二郎]

「オンライン」、昨年から何度この言葉を聞くのだろう。対面とは違い、その場には自分一人だけ。周りの目が届いていない環境で自分の思いが出てしまった。今の時代だからこそ起こる現象と思いつつ、どんな独り言だったのか気になって仕方がない。慣れない環境で、ついうっかり起きたハプニングの情景がイメージできる。

受賞者コメント

コロナ禍で高専でも部活動等が禁止になり、リモートで会議をする機会がありました。皆と会えない一人の中、何か共感できるような事、例えばそんな時のちょっとしたほほえましい失敗等、特にこういった慣れない、あるいは初めての中に無いかと考え、この作品を作りました。

作品評価 [評:福岡大学長 朔 啓二郎]

毎年、夏になるとワクワクする。それは自宅にさまざまなイベントの案内が届くから。しかし今年はワクチンの接種案内が。今年これが「なつだより」だと思わず少し寂しく感じる。ワクチンに対する期待がありながらも、今年も夏らしいことができないうかなという作者の切ない思いが伝わってくる。

受賞者コメント

今回、優秀賞という素晴らしい賞をいただくことができ、とても光栄に思います。私がこの川柳を思いついたのはコロナウイルスのワクチン接種が始まってしばらくした頃でした。毎年送られてきていた暑中見舞いよりも先に届いた接種案内の手紙に切なく思うとともに、ワクチンにこの先の日常を期待する複雑な感情を表現しました。日常が戻ってくる事を信じて、自分の今できることを精一杯しようと強く感じた夏になりました。

第17回
全国高校生川柳コンクール

特別賞

〔全日本川柳協会賞〕

福岡県 福岡大学附属若葉高等学校 二年 高崎 春花さん

ごはんよと
今日も呼ばれる
あたたかさ

特別賞

〔西日本新聞社賞〕

北海道 北海道網走南ヶ丘高等学校 三年 松田 優希奈さん

オムライス
涙も包む
母の魔法

作品評価 [評:全日本川柳協会 梅崎 流青 氏]

昨日と同じ今日、今日と同じ明日が来ることに何の疑いも抱かなかった。そのことに疑問を覚えたのは2011年3月11日の東日本大震災、そして世界地図を赤く染めた今回の新型コロナウイルス。階下から「ごはんよ」と母の声。震災とコロナ禍が教えてくれた今日というかけがえない一日。温かい炊きたてのごはんのような日常が家族間を行き交う。

受賞者コメント

この度は、このような賞を頂きとても驚き、嬉しく感じています。この川柳は、家族で過ごすほんの一時の日常に焦点を当てて作りました。母に、毎日「ごはんよ」と呼ばれてから食卓を囲んで食べるできたてのご飯のあたたかさ、毎日美味しいごはんを食べることができる家族のあたたかさの二つを表現しました。大人になれば自分で料理を作って食べることになるとは思いますが、高校生の今だからこそ、この「あたたかさ」を感じられると思います。

作品評価 [評:西日本新聞社 阪口 由美 氏]

ユーミンの歌ではないけれど、一瞬にして「やさしさに包まれて」しまった。チキンライスだけでも十分おいしいのに、さらにひと手間かけて、ふんわり卵で包むオムライス。そこにすでに「愛」がある。何も聞かず、さりげなく涙も包み込んでくれる母の存在。こんな「魔法」で世の中が包まれるよう願わずにはいられない。

受賞者コメント

この度このような素晴らしい賞を頂き、本当に嬉しく思います。私が悩んでいる時や落ち込んでいる時、母はいつも私の大好きなオムライスを作ってくれます。どんなにつらくても母の温かな思いが詰まったオムライスを食べると元気になり、笑顔になります。「頑張り！」と励ましてくれる、優しい魔法のようだと思います。そんな思いを表現し、支え続けてくれた母へのたくさんの感謝の気持ちをこの作品に込めました。

特別賞

〔NHK福岡放送局長賞〕

先生の
話もマスクも
よくズレる

山口県 宇部鴻城高等学校 一年 井上 京祐さん

特別賞

〔紀伊國屋書店賞〕

しなくていい
心のソーシャル
ディスタンス

山口県 柳井学園高等学校 一年 松下 優河さん

作品評価 [評:NHK福岡放送局 菅谷 敦 氏]

風刺とは皮肉の程度が難しいものですが、この句はその塩梅が絶妙です。世相を映すマスクを登場させ、学生生活と中高年の「あるある」を一つの動詞に集約する手法は、さりげなくも完成度の高いものです。さらにテレビ制作に携わる人間としては、この句が表す情景が、容易に脳内で映像化できる点も高く評価しました。

受賞者コメント

この度、特別賞に選んでいただき、ありがとうございます。この川柳は、授業中の先生の話が授業とは関係ない話にずれていく中、だんだんとマスクもずれていくことが面白く印象的だったので、川柳にして書きました。コロナが流行ってマスクを付けるようになった今、しゃべるたびにマスクがずれることがよくあることだと思います。

作品評価 [評:紀伊國屋書店 武藤 和男 氏]

コロナ禍の世の中で、ソーシャルディスタンスを守ることはとても大切だが、友人たちの心までが離れてしまい、殺伐とした学校生活になるのはいやだと筆者は訴えている。頭句の「しなくていい」という言葉に強いメッセージが込められ、奥の深い句と感じた。「心の」ソーシャルディスタンスという表現も秀逸。

受賞者コメント

先生から特別賞と聞いた時は、とても驚きましたが嬉しかったです。ありがとうございました。私が入学した時は、楽しみにしていたお昼休みも、コロナ禍のため「黙食」で、せっかくクラスのみんと早く仲良くなりたいと思っていたので残念でした。確かに、感染予防にはソーシャルディスタンスは大切なことですが、一度きりの高校生活なので、人との出会いを大切に、悔いのない毎日を送りたいという想いを作品に込めました。

特別賞
〔福大生が選ぶ賞〕

毎日を
生きてることが
金メダル

第一学院高等学校(高校校) 安藤 利華さん

作品評価 [評:学友会総務委員会 下河辺 ちより]

今現在、新型コロナウイルスが流行し、私たちの生活が大きく変化している、そのような状況を表した上での内容が伝わってきます。そしてこれは感染が収束した後にも言えることでしょう。当たり前のことのように思われながらも当たり前ではない日常生活や自分自身について、深く考えさせられる作品でした。

受賞者コメント

まずはこのような賞を頂いたことをとても光栄に思っています。私が受賞したと聞いた時、嬉しさと驚きが一気に押し寄せてきました。この川柳のテーマはコロナ禍で自殺者数が増加した社会へのメッセージです。世界に一人しかいない、誰もいないあなたが生きていることがとても素晴らしいから金メダルをあげたいという想いを込めました。この川柳が心に響いたことで救われる人が1人でも増えてくれることを心から願っています。

入賞

雑巾も 縫わない母が マスク縫う
入江 萌さん

熊本県・熊本県立
天草高等学校 二年

消しゴムの サイズ変わらぬ 夏休み
磯野 真那花さん

兵庫県・兵庫県立
長田高等学校 一年

午後の授業 ノートに現る なぞの文字
有友 彩夏さん

愛媛県・愛媛県立
松山南高等学校(砥部分校) 三年

SNS 身近に潜む SOS
在木 稜真さん

大阪府・大阪府立
摂津高等学校 三年

イケメンと 言われマスクを 外せない
青木 陽菜さん

石川県
金沢大学附属高等学校 一年

受験前 神様だらけの マイリリツク

酒巻 美々さん

徳島県・徳島県立
城ノ内高等学校 三年

サイダーに 潮騒を聞く 夏の午後

近藤 之恵さん

東京都・
桐朋女子高等学校 二年

相合傘 濡れてる僕が 嬉しくて

岸上 琉音さん

島根県・
益田東高等学校 三年

お弁当 おかずでわかる 母眠い

冠 斗生さん

大阪府・大阪府立
信太高等学校 二年

携帯の 地図スクロール 旅気分

小濱 明日香さん

福岡県・福岡大学附属
若葉高等学校 三年

折りたたみ リリツクに隠し 忘れたふり

小野 桃菜さん

大分県・大分県立
別府翔青高等学校 三年

マスクをね 外して再度 人見知り

大森 翔太さん

福岡県・福岡大学附属
若葉高等学校 三年

接種前 緊張してか 熱上がる

大石 彩楓さん

長崎県・
純心女子高等学校 三年

胸を張れ 父の言葉と その背中

内野 吏人さん

静岡県・東海大学付属
静岡翔洋高等学校 三年

見てみたい 卒業までに 君の顔

上村 友亜さん

石川県・
北陸学院高等学校 三年

文化祭広がる恋のクラスター

日高 颯太さん

宮崎県・宮崎県立
都城泉ヶ丘高等学校 二年

青春の 思い出すべて マスク付

林 萌子さん

愛知県・
金城学院高等学校 二年

教科書に マーカリー引いたら 出来た気に

花田 凱さん

福岡県・福岡県立
小倉東高等学校 一年

コロナ禍で 闘う誰もが メダリスト

橋本 七海さん

山口県・
慶進高等学校 一年

高画質 最高画質は 現実だ

西崎 友晴さん

福岡県・福岡大学附属
若葉高等学校 二年

リモートで 「起立」と言われ 慌てだす

都地 耀佑さん

福岡県・福岡大学附属
若葉高等学校 一年

セミが鳴く 暑くて地球も 泣いている

高林 陽彩さん

富山県・
富山国際大学付属高等学校 一年

コロナ禍へ メダルが伝えた “支え合い”

高石 萌歌さん

大阪府・
関西大学第二高等学校 二年

白い歯を 見せることなく 帰る道

白草 慶大さん

徳島県・
阿南工業高等専門学校 二年

バスの中 つり革がわりに 君の袖

澤本 亜美さん

兵庫県・兵庫県立
武庫荘総合高等学校 二年

賞 校 学

呉 港 高 等 学 校
(広島県)

北海道恵庭北高等学校
(北海道)

大分県立別府翔青高等学校
(大分県)

福島県立福島商業高等学校
(福島県)

宇部鴻城高等学校
(山口県)

阿南工業高等専門学校
(徳島県)

富山国際大学付属高等学校
(富山県)

ぶらんこと 一人夏空 雲を漕ぐ

和多 彩夏さん

福岡県・福岡大学附属
大濑高等学校 一年

自粛して 家族の絆 密になり

村上 綾さん

富山県・
富山国際大学付属高等学校 一年

初めての 大会のほすが 引退戦

向井 菜月さん

東京都・
郁文館高等学校 二年

単語帳 数周目でも どちらさま

星野 駿介さん

神奈川県・
桐蔭学園高等学校 二年

最近の 断り方は コロナだし

開 柚衣さん

熊本県・熊本県立
高森高等学校 三年

※学校名の五十音順に掲載